



## 取扱説明書



## 【機能】

- 時刻、日付、曜日の表示
- アラーム機能
- チャイム機能
- ELバックライト
- クロノグラフ [ストップウォッチ機能/ラップタイム機能]
- リチウム電池(電池1個を内蔵)で動作しながら太陽光発電(ソーラー)を行うデュアルパワー方式
- 太陽光発電(ソーラー)の補助発電によって内蔵電池を補う省電力構造。(充電機能は無し)
- 室内蛍光灯等だけでは発電の為に十分な光量が得られません。リチウム電池によって作動します。(ELライト・ストップウォッチ・アラーム機能を使用するにはリチウム電池の電池容量が必要です。)
- 使用温度範囲 5°C ~ 35°C
- クォーツ精度 月差±20秒
- 5気圧防水(水の中又は水滴がついた状態でボタン操作はしないで下さい。)

## 【CYBEAT® 太陽光発電(ソーラー)時計について】

- ・この太陽光発電(ソーラー)時計はリチウム電池を内蔵しています。通常リチウム電池の電力を使用して時計機能を作動します。ソーラー発電は補助電力として状態によって作動しています。リチウム電池だけで通常使用した時の電池寿命は約5年です。
- ◎注意…この製品の太陽光発電(ソーラー)は、発電した電力を充電・蓄電する事はできません。
- ※ELライト・ストップウォッチ・アラーム等の機能を動作するには大量の電力量を必要とする為、リチウム電池の電池容量が必要です。時計表示上部にある発電パネル部分に十分な光量が得られない場合(衣服や袖の下に隠れてしまう等)は、発電が出来ません。
- ※太陽光発電(ソーラー)は、晴天の屋外で発電パネルに太陽光が当たる場合は、ほぼ問題なく発電します。室内では光量不足で発電が出来ません。その場合に、リチウム電池の電池容量が不足していると時刻の表示が出来ません。

## 【デジタル時計の見方】

- ・標準時刻表示では時/分/秒/曜日が表示されています。
- ・S1を押すと日付が表示されます。
- ・S2を押すとアラーム設定時刻が表示されます。
- ・S3を押すと表示モードが切り替えます。

## 【デジタル時計のELライト】太陽光発電(ソーラー発電)だけではライト機能は使用できません。

- ・S4を押すとELライトが光ります。ELライトは電気を多量に消耗します。必要最小限のご使用をお薦めします。

## 【デジタル時計の合わせ方】時刻/日付の設定

- ・標準時刻表示の時にS3を3回押すと秒が点滅し、S1を押して00秒に合わせます。
- ・S2を押すと分が点滅し、S1で分を合わせます。
- ・S2を押すと時が点滅し、S1で時を合わせます。
- ・S1を押し続けると12時間表示(午前:時刻表示の左にAM・下にAを表示/午後:時刻表示の左にPM・下にPを表示)と、24時間表示(時刻表示の下にHを表示)を繰り返します。
- ・S2を押すと日付が点滅し、S1で日を合わせます。
- ・S2を押すと月が点滅し、S1で月を合わせます。
- ・S2を押すと曜日が点滅し、S1で曜日を合わせます。最後にS3を押すと標準時刻表示にもどります。

## 【デジタル時計のアラーム】太陽光発電(ソーラー発電)だけではアラーム機能は使用できません。

- ①アラーム時刻の設定 標準時刻表示の時にS3を2回押すとアラーム時刻の時が点滅し、S1で時を合わせます。S2を押すとアラーム時刻の分が点滅し、S1で分を合わせます。S3を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②アラームの設定 標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押すとアラームのON/OFF(設定/解除)ができます。アラームが設定されているときは、ベル型のマークが表示されます。
- ③スヌーズ機能(再アラーム機能)/アラーム音の一時停止 S1を押すとアラームが一時的に止まります。アラームは約5分後に再び鳴り出します。
- ④アラームの解除 標準時刻表示の時にS2を押しながらS1を押します。アラーム機能を解除した時、ベル型のマークは表示しません。

## 【デジタル時計の時報】

- ※時報チャイムのON/OFF(設定表示はS2を押した時に確認できます。)
- 標準時刻表示の時にS2を押しながらS3を押すと時報チャイムのON/設定が出来ます。
- チャイムが設定されたときは曜日マークが全表示されています。
- 解除するときは上記操作を同様に行います。(曜日全表示が消えます。時報チャイムのOFF/解除が出来ます。)

## 【デジタル時計のクロノグラフモードについて】太陽光発電(ソーラー発電)だけではクロノグラフ機能は使用できません。

- 標準時刻表示の時にS3を1回押すとクロノグラフ/ストップウォッチ機能になります。
- クロノグラフモードにはストップウォッチ機能とラップタイム機能があります。
- ①ストップウォッチ操作 ストップウォッチ機能を表示した状態でS1でスタート/計測開始、もう一度押すとストップ/計測停止ができます。計測を止めた状態でS2を押すとリセットされます。最後にS3を押すと標準時刻表示にもどります。
- ②ラップタイム操作 S3を1回押し、S1を押してストップウォッチ計測を開始します。計測中にS2を押してラップタイム(途中経過時間)を表示します。その間もストップウォッチは計測されています。そのままS2を押すと再び計測中のストップウォッチ計時が表示されます。S1を押して停止した後、記録を眺みます。計測を停止した状態でS2を押すと計測前の状態にリセットされます。S3を押すと標準時刻表示にもどります。

## 【リチウム電池の交換について】

- デジタル時計の内蔵リチウム電池の電池寿命は通常使用(時計動作・アラームを1日1回・ライトを1日1回)で約5年です。時計組み立て時にはモニター電池が組み込まれている為、時計は規格寿命に満たないうちに電池が切れる事があります。特にアラーム機能やELライトの使用が多い場合は、電池を多く消耗しておりますので、ご注意ください。
- モニター電池は時計の価格には含まれておりません。保証期間内であっても電池交換は有料となります。
- ※小型銀電池やコイン電池のお取り扱い上の注意 本製品に使用されている小型銀電池やコイン電池を保管する際には乳幼児の手の届かない安全なところへ置いて下さい。万一、飲み込んだような場合には、ただちに病院や医師にご相談下さい。また、保存状態によっては液漏れ等がある場合もあります。使用済み電池を廃棄する時、絶対に火の中に入れてください。廃棄は自治体の規定に従った方法を行って下さい。故障した電池や使用済みで容量の不十分な電池を使用しないで下さい。